



**MYCARBON3**

**GOLD XG for Auto**

リファレンスマニュアル

# 目次

はじめに .....	1
MYCHRON 3 Gold XG for Auto の構成 .....	1
MYCHRON 3 Gold XG for Auto 各部品の詳細 .....	1
ディスプレイ(本体) .....	1
ボタン .....	1
警告ランプおよびギアポジション .....	2
ジャンクションボックス(本体) .....	2
速度センサ .....	2
温度センサ .....	2
圧力センサ .....	2
その他のアナログセンサ .....	3
ラップセンサ .....	3
ラップマーカー .....	3
MYCHRON 3 Gold XG for Auto の使用方法 .....	4
機能設定 .....	4
-Night Vision (バックライト) .....	4
-Clear test data(テストデータクリア) .....	4
-Beacon obscuring time (マーカー信号無視時間) .....	4
-Split's number (スプリットタイム測定用マーカーの数) .....	4
-Total running time (累積走行時間) .....	5
-Odometer (オドメーター) .....	5
-Gear calibration(ギアセンサキャリブレーション) .....	5
-Changing gear lights configuration(回転警告ランプ設定) .....	6
-Wheel circumference(タイヤ外周長) .....	6
-Speed sensor 's number(速度センサマグネット数) .....	6
-Max RPM value (最大回転数) .....	6
-Spark for Revs (一回転あたりの点火パルス数) .....	6
-Temperature measure unit (温度表示単位) .....	7
-Speed measure unit (速度計測単位) .....	7
-Message language (表示言語) .....	7
便利な機能 .....	8
- 走行中の表示 .....	8
- ベストラップタイムを表示する .....	8
- ほかのラップのデータを呼び出す .....	8
- 記録されているデータを消去する .....	8
メンテナンス .....	9
ファームウェアのアップグレード .....	9
サポート .....	9
クイックリファレンス .....	10

## はじめに

この度はMYCHRON 3 Gold XG for Autoをお買いあげ頂き、有り難うございます。MYCHRON3 Gold Autoは、Aim社の新世代データロガーです。

このリファレンスマニュアルでは、機能・操作方法など、MYCHRON 3 Gold XG for Autoを使用していく上で必要な情報を詳しく説明しています。取り付け方法や簡単な使用方法については、「MYCHRON 3 Gold XG for Auto クイックスタートガイド」をご覧ください。

## MYCHRON 3 Gold XG for Auto の構成

お買いあげいただいた MYCHRON 3 Gold XG for Auto には以下のパーツが含まれています。不足部品がある場合は、販売店にご相談ください。

1. MYCHRON 3 Gold XG for Auto 本体
2. ラップセンサ(赤外線式・磁気式のいずれか)
3. ラップマーカー(ラップセンサが赤外線式の場合のみ)
4. 温度センサ(水温・排気温・シリンダヘッド温度のいずれか)
5. ラップマーカー用外部電源ケーブル(ラップセンサが赤外線式の場合のみ)
6. USB ダウンロードケーブル
7. スピードセンサ

## MYCHRON 3 Gold XG for Auto 各部品の詳細

MYCHRON 3 Gold XG for Auto の各部品の詳細と、取り付ける際の注意点は以下の通りです。

### ディスプレイ(本体)

大きな表示領域を持つディスプレイには、エンジン回転数(rpm)が最上部にバーグラフ式で、左側上下にアナログチャンネルの数値(>> ボタンで切替可能)が、それぞれ表示されます。また、ラップマーカーの信号を受信すると、右下にデジタルでラップタイムもしくはスプリットタイムが大きく表示されます。また、右上のデジタル表示は、エンジン回転数(rpm)・速度・ベストタイムを[VIEW]ボタンによって切り替えることができます(走行していないときには電池の電圧を表示させることもできます)。また、ディスプレイにはバックライトが装備されており、夜間でも使用することができます。

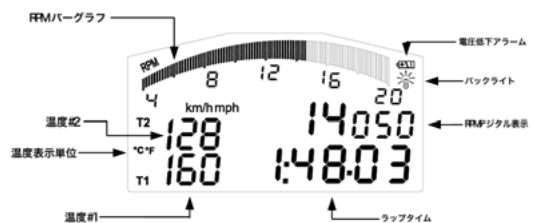
その他にも、小さなアイコンによって、温度の単位(セ氏[ ]か華氏)、速度の単位(km/hかmph)、バックライトの使用、バッテリーアラームが表示されます。

ディスプレイは、裏面の4本のナットを用いて、しっかりと取り付けてください。

### ボタン

MYCHRON 3 Gold XG for Auto のディスプレイ下部には電源の制御やシステムの設定、さらに記録されたデータを呼び出したり消去するための4つのボタンがあります。これらのボタンの主な用途は以下の通りです。

- ・ [MENU / <<] : 設定メニューを表示・前に戻る・走行中はバックライトの切り替え
- ・ [>>] : 次に進む・アナログ入力チャンネル表示の切り替え
- ・ [MEM] : 設定メニュー内では確定・データの呼び出し



- ・ [VIEW] : 設定メニューを終了する・表示項目を切り替える(エンジン回転数のデジタル表示・ベ  
スタタイム・速度・バッテリー電圧)

MYCHRON 3 Gold XG for Auto の電源は、電源入力に連動します。

中央部のゴムカバー内部には、USB ポートがあります。

#### 警告ランプおよびギアポジション

MYCHRON 3 Gold f8G Auto にはアナログチャンネル警告ランプ、回転警告ランプ、ギアポジションインジケータが装備されています。

- ・ 温度警告ランプはメインディスプレイの左右に配置されています。左側にはLED1とLED2が、右側にはLED3とLED4があります。これらの4つのLEDは赤色です。
- ・ 回転警告ランプはメインディスプレイの上部に配置されています。左右対称に2つで1組となり、任意の回転数で点灯させることができます。これらのLEDは、外側から内側にむかって順に、緑・緑・オレンジ・赤・赤色です。
- ・ ギアポジションインジケータは中央上部にあり、現在のギアポジションを表示させることができます。このインジケータには0から9までの数字を表示させることができます。



#### ジャンクションボックス(本体)

センサを取り付けるためのジャンクションボックスには、横Gセンサが内蔵されています。コネクタがある面を車両の前後方向に合わせて取り付けるようにしてください。

#### 速度センサ

ECU 等からの速度信号が利用できない場合、速度センサを取り付ける必要があります。速度センサは、マグネットトリガーが必要なバイク用が付属します。この他に、ギアトゥースセンサ(Aim製)、汎用近接センサをオプションで用意しています。また、メーターケーブルから取り出す市販の速度センサを取り付けることも可能です。

##### - バイク用速度センサ

バイク用速度センサは、センサ本体とマグネットから構成されています。まず、ハブなどの回転部分にマグネットを取付けます。このマグネットから20mm以内程度で正対するように、センサ本体を取り付けます。センサ本体とマグネットの位置関係がずれないように、しっかりしたステーを作成して固定してください。



#### 温度センサ

MYCHRON 3 Gold XG for には温度センサを最大で4つ取り付けることができます。温度センサは5種類あり、購入時に選択したもののほかにオプションで購入することもできます。

1. H<sub>2</sub>O - 水温センサ(PT)1/8 タイプ)
2. H<sub>2</sub>O - 水温センサ(M5 タイプ)
3. EGT - 排気温度センサ
4. CHT - シリンダヘッド温度センサ
5. H<sub>2</sub>O - 水温センサ(サーミスタ M5 タイプ - 表示されていません)



1 から 4 のセンサはすべて K 型熱電対です。

#### 圧力センサ

MYCHRON 3 Gold XG for Auto には圧力センサを最大で4つ取り付けることができます。

## その他のアナログセンサ

MYCHRON3 Gold XG for AutoのCH1からCH4にはこの他に様々なセンサを取り付けることができます。また、汎用の0-5V入力としても利用できます。利用方法については、Race Studio 2マニュアルなどを参照してください。

### ラップセンサ

ラップタイムを計測するために、ラップセンサが必要となります。ラップセンサには赤外線タイプと磁気タイプがあり、MYCHRON 3 Gold XG for Auto ではどタイプも使用することができます。赤外線タイプを使用する場合には、コースサイドにラップマーカー(赤外線発信器)を設置する必要があります。また、磁気タイプを使用するためには、サーキットに磁石が埋設されている必要があります。

- ・ 赤外線式ラップセンサ : コースサイドに設置されているラップマーカーの方向に合わせて車両に設置します。灰色の点の部分が発信用のレンズです。
- ・ 磁気式ラップセンサ : 車両のなるべく低い位置に設置します。センサに記載されている矢印を車両の前後方向に合わせます。ノーマルタイプでは地上高10cm以内、高感度タイプは20cmの場所に取り付けるようにしてください。また、磁性体からはなるべくはなして設置してください。

MYCHRON 3 Gold XG for Auto はラップセンサの形式(赤外線式か磁気式か)を自動的に判別するため、設定し直す必要はありません。

### ラップマーカー

ラップマーカー(赤外線発信器)を、コースサイドのなるべく走行ラインに近い場所に置きます。また、ラップマーカーは受信器と同じくらいの高さに置く必要があります。

ラップマーカーは、右上の円形に配置されたLEDから赤外線を発信します。裏面に電源スイッチと外部電源の入力コネクタがあります。

使用するためには、裏面から4本のビスをゆるめてカバーを外し、単3型乾電池を8本か、006P型9V電池を1本取り付けます。通常、新品の単3型アルカリ電池を装着してから20時間使用できます。Powerランプが点滅したら電池を交換してください。

外部電源を使用する場合には、乾電池は必要ありません。外部電源はDC12Vのものをお使いください。付属する外部電源ケーブルにはシールドバッテリー用のコネクタが取り付けられていますので、赤いコネクタを+(プラス)端子に、黒いコネクタを-(マイナス)端子に取り付けてください。なお、外部電源用ケーブルをラップマーカーの外部電源入力コネクタに取り付けると、内部の乾電池はバイパスされて使用されません。内部電源を使用する場合にはケーブルを取り外してください。

設置場所が走行ラインから20m以上離れてしまう場合には、ハイパワーモードにしてお使いください。ハイパワーモードにするためには、電池交換と同様にカバーを外し、基盤下部にあるジャンパーピンを接続します。ショートピンを一度取り外し、2本のピンを接続させます。ハイパワーモードの場合、電源ランプ下の20mランプが点灯します。ハイパワーモードで使用する場合には、外部12V電源を使用してください。

**重要** : Aimのラップマーカーには周波数(チャンネル)切り替え機能はありません。使用する台数に関わらず、コースに必要なラップマーカーは一つだけです。

ラップマーカーの信号ビームは約17度(3:1)で拡がります。言い換えれば、3m離れた地点での信号ビームの



大きさは約1mになります。他社製のものも含め、赤外線方式のラップマーカーがそばにおいてあると、光波が干渉してしまい、信号を拾えなくなることがあります。このような場合、ビーム拡がり角度を参考に、他のラップマーカーから適当な距離を離して設置してください。通常の使用条件であれば、5m程度離して設置すれば良いでしょう。

## MYCHRON 3 Gold XG for Auto の使用方法

MYCHRON 3 Gold XG for Autoの電源を入れるといくつかの情報が表示されます。詳細は以下の通りで、この順番に表示されます。

- ・ Aim 1\_XY ファームウェアバージョン
- ・ MYCHRON3 機器の名称

### 機能設定

MYCHRON 3 Gold XG forはARGを用いる事で簡単に設定を行うことができます。PCでの設定方法はRaceStudio2マニュアルを参照してください。

なお、PCに接続しなくても、本体下部のボタンを用いて設定を行うこともできます。ただし、すべての項目は設定できません。本体のみで設定を行う方法は以下の通りです。

電源を入れた後、[MENU / <<]ボタンを押すと、各種パラメータの操作を行う設定モードに入ります。[MENU / <<]ボタンで次の設定項目に移り、[>>]ボタンで前の設定項目に戻れます。

設定モードを終了しメインディスプレイモードに戻る場合には、[VIEW]ボタンを押します。

-Night Vision (バックライト)

MYCHRON 3 Gold XG forのディスプレイには、バックライトが装備されています。この設定項目を表示している状態で、[MEM/OK]ボタンを押すとバックライトのオンオフを切り換えられます。メインディスプレイモードに戻るためには[VIEW]ボタンを押します。

バックライトがオンになると、ディスプレイの右上に電球のマークが表示されます。走行中であれば、[MENU / <<]ボタンを押すだけでバックライトのオンオフを切り換えられます。

-Clear test data(テストデータクリア)

メモリに記録されているデータを消去します。

CLEAR TEST DATAと表示されている状態で[MEM]ボタンを2回押すとデータが消去されます。[VIEW]ボタンで終了できます。

-Beacon obscuring time (マーカー信号無視時間)

ラップマーカーからの信号を無視する時間を設定します。このパラメータを設定することで、赤外線式ラップセンサを使用していて、コースサイドに複数のラップマーカーが設置されてしまった場合でも、正しくラップタイムの計測を行えます。また、複数の磁石が埋設されているコースで、区間タイムを計測したくない場合にも使用します。

たとえば、ラップタイムが60秒のコースでは50と設定します。マーカー信号無視時間は3秒から59秒まで設定できます。

OBSCURING TIMEが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。[MENU / <<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

-Split's number (スプリットタイム測定用マーカーの数)

スプリットタイムを測定するためのマーカーがサーキットにいくつあるかを設定します。複数のマーカーを設置するか、複数の磁石が埋設されている場合、この設定を正しく行うことで、最初のマーカーからのスプリッ



トタイムが計測できます。なお、マーカーが複数ある場合でも、前述の Beacon obscuring time(マーカー信号無視時間)を使用することで、区間タイムを計測しないように設定できます。

NUMBER OF SPLITSが表示されている状態[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/←]ボタンを押すと数字が増加します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

#### -Total running time (累積走行時間)

走行時間の累積値を表示させることができます。また、必要に応じてリセットすることもできます。

TOTAL RUNNNIが表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと、上部にPRESS OK TO CLEAR と表示されるので、さらに[MEM]ボタンを押せばTOTAL ARE CLEAREDと表示され、数値がゼロにリセットされます。リセットせずに終了する場合は、[VIEW]ボタンを押します。

#### -Odometer (オドメーター)

MYCHRON3が取り付けられてからの、累積走行距離を表示します。この値はリセットすることができません。

#### -Gear calibration(ギアセンサキャリブレーション)

MYCHRON3 は、ギアポジションセンサ(ギアボックス内にセンサが搭載されている場合)を使用するか、エンジン回転数と速度から計算させることで、ギアポジションを検知する機能があります。もちろん、必要がない場合にはギアポジションインジケータをオフにすることもできます。

GEAR CALIBRATIONが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと、上記の3つのモードを切り替える事ができます。これらはそれぞれ、下記のように表示されます。

GEAR COMPUTED - (ギアポジションを計算させる)

GEAR IS DISABLED - (ギアポジションを表示させない)

GEAR WITH SENSOR - (ギアポジションセンサを使用する)

#### 1) Compute gears (ギアポジションを計算する)

GEAR COMPUTEDと表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと、このオプションが選択され、HIGHER GEARと表示されます。[MENU]ボタンを押してトップギアの数字にします。[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

設定が終了したら、それぞれのギアのしきい値を覚えさせるため、コースを最低2ラップ以上周回し、ティーチングを行う必要があります。なお、ティーチングするにはすべてのギアを使用してください。すべてのギアを使用しなかった場合、きちんとした数字を表示させることができなくなります。

ティーチングラップの最中は、ギアナンバーは表示されません。

ティーチングラップが終了したら、ピットに戻って車両を停止させてください。この際、MYCHRON3の電源を切る前に、必ず車両を完全に停止させてください(速度入力をゼロにしてください)。エンジンの停止とMYCHRON3の電源停止は同時でもかまいません。

ケース1: MYCHRON3の電源を切らずにエンジンを停止した場合、AL1ランプが点滅します。ランプが点滅している間は、しきい値を計算中です。

ケース2: MYCHRON3の電源がエンジン停止と同時に切断された場合、次に電源を入れたときにAL1ランプが点滅して、しきい値の計算を行います。

AL1ランプが点滅から消灯になると、ティーチングはすべて終了です。次回走行時にはギアナンバーが表示されます。もしも実際のギアと表示される値が異なる場合には、再度ティーチングをやり直してください。

なお、計算用のしきい値はMYCHRON3内部のメモリに保存されるため、一度ティーチングしてしまえば、次の使用時もそのままギアナンバーが表示されます。ただし、ギア比を変更したり、タイヤ外周長が変わった場合には、再度ティーチングする必要があります。

また、計算のアルゴリズムは速度を駆動輪で取得することを前提としたものになっています。従って、速度を駆動輪以外で取得している場合には、正しいギアナンバーを表示させることはできません。

#### 2) Gear is disabled(ギアポジションを表示させない)

ギアポジションを表示させたくない場合、このオプションを選択します。

## 3) Gear with sensor (ギアポジションセンサを使用する)

GEAR WITH SENSORと表示されている状態で[MEM]ボタンを押すとこのオプションが選択され、INSERT GEARと表示され、ギアポジションインジケータに数字のゼロが点滅表示されます。ギアをニュートラルにし、[>>]ボタンを押します。するとインジケータの表示が1となるので、ギアを1速に入れ[>>]ボタンを押します。同様の作業をトップギアまで繰り返します。トップギアに入れた後は[MEM]ボタンを押してキャリブレーションを保存して終了します。

キャリブレーションを最初からやり直す場合は、[MENU]ボタンを押します。また、ギアチャンネルを使用しない場合には、ギアポジションインジケータに数字のゼロが点滅表示している状態で、[MEM]ボタンを押します。これで、GEAR IS DISABLEDと表示されるはずですが、

キャリブレーションを保存しない場合は、[VIEW]ボタンで終了します。

*-Changing gear lights configuration(回転警告ランプ設定)*

ディスプレイ上部にある回転警告ランプの設定を行います。エンジンの回転数が設定した値に到達すると、ランプが点灯します。

SHIFT LIGHTが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと両端のランプが緑色に点灯し、ディスプレイにはランプを点灯させる回転数が表示されます。

さらに[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。[MENU/<<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。[MEM]ボタンを押せば修正が保存され、次のランプの設定に移ります。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

設定できる値は0から29999までで、0に設定するとこの機能は無効になります。

*-Wheel circumference(タイヤ外周長)*

タイヤの外周長を設定します。ここで設定された値を基に、タイヤの回転速度から車両の速度を算出します。ECU信号を利用する場合には、適切な値を計算してください。なお、後述の速度計測単位によって、ここで表示される単位も変化します。速度がkm/hの場合はmm単位に、mphの場合はinch単位になります。

WHEEL CIRCUMFERENが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。[MENU/<<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。0から9999までの値を設定できます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

*-Speed sensor's number(速度センサマグネット数)*

取り付けられている速度センサ用マグネットの数を設定します。速度センサは、マグネットが通過するたびに電気パルスを発生させます。このパルス数から回転速度を算出するため、正しく設定する必要があります。ECU信号を利用する場合には、そのパルス数に合わせてください。

PULSES ON WHEELが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと、編集モードに入ります。[MENU/<<]ボタンで点滅している桁の数字が一つずつ増加し、[>>]ボタンで修正する桁を移動させられます。0から255までの値を設定できます。

*-Max RPM value (最大回転数)*

バーグラフ式タコメータの最大値を設定します。なお、ここで設定した数値よりも大きい入力があった場合には、ノイズと見なして、記録しません。

MYCHRON 3 Gold XGAのαは最大回転数の設定を7種類用意しています：8,000rpm、10,000rpm、12,000rpm、16,000rpm、20,000rpm、22,000rpm、25,000rpmの7種類です。

MAX RPM/ALUEが表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/<<]ボタンを押すと数字が増加します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の数字に変更は加えられません。

*-Spark for Revs (一回転あたりの点火パルス数)*

エンジンが一回転することに発する点火パルスの数を設定します。



SPARK FORREVS が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/ <<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。設定値はx1、x2、1/2、1/3、1/4、1/6の中から選択できます。4気筒4サイクルエンジンの場合は、1/2を選択します。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

-Temperature measure unit (温度表示単位)

温度計の表示単位をセ氏( )と華氏(°F)から選択することができます。

FAHRENHEIT/CELSIUS が表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/ <<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。選択にあわせて、温度表示部の左側に と °Fのマークが示されます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

-Speed measure unit (速度計測単位)

速度の計測単位を km/h と mph から選択することができます。

SPEED UNIT が表示されている状態で[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/ <<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

-Message language (表示言語)

MYCHRON 3 Gold XG for Auto はディスプレイに表示させる言語を選択できます。

MESSAGE LANGUAGEが表示されている状態で、[MEM]ボタンを押すと編集モードに入ります。[MENU/ <<]と[>>]ボタンを押すことで、設定値を変更できます。

[MEM]ボタンを押せば修正が保存されます。[VIEW]ボタンを押すと修正は破棄され、元の値に変更は加えられません。

## 便利な機能

MYCHRON 3 Gold XG for は、ラップタイムのほかに、エンジン回転数・温度などのアナログ×4・速度・ギア・横Gの各データを最大サンプリングレート100Hz(毎秒100回)で記録することができます。このデータは、後から解析することができます。

なお、MYCHRON 3 Gold XG for Auto は速度の入力値が10km/hを越えるか、エンジン回転数が2000rpmを超えた段階からデータの記録を開始するようになっています。従って、エンジン回転数とスピードが両方とも作動していない場合には、ラップタイムも記録されません。

MYCHRON 3 Gold XG for Auto は取得したデータをセッションごとに「テスト(Test)」として分割し、すべての周回を記録します。テストを新たにするには、一度電源を落としてから、再度入れ直します。

### - 走行中の表示

MYCHRON 3 Gold XG for Auto 走行を開始すると"Test 01" (もしくはメモリがクリアされていない場合は現在のテスト番号)が表示されます。そして、車両がマーカーを通過すると、"Lap 001"と表示されます。前章に記述されている「スプリットタイム計測用マーカーの数」がゼロでない場合には、設定された数まで"Split Number"と表示され、ベストタイムとの差が同時に表示されます。すべてのスプリットタイム計測用マーカーを通過し、最初のマーカーに戻るとラップタイムが表示されます。

ベストラップタイムが記録されると、"Best Lap Time"と表示されます。

[VIEW]ボタンを押すと、ベストタイム・エンジン回転数・速度の順に表示を切り替えることができます。

[MENU]ボタンを押すとバックライトのオンオフがワンタッチで行えます。

走行が終了すると、ディスプレイには最後の周回の周回数とラップタイムが表示されます。[MEM]ボタンを押すとメモリに記録されているデータにアクセスすることができます。

### - ベストラップタイムを表示する

ベストラップタイムを表示させるには、メインディスプレイモードで[MEM]ボタンを押します。最後のセッション(テスト)のベストタイムが表示されます。

同時に、そのラップのテスト番号、周回数、温度とエンジン回転数の最高値が表示されます。ラップタイムが点滅しているのは、そのセッション(テスト)のベストタイムであることを示すためです。

この状態で[MEM]ボタンを再度押すと、そのラップの温度とエンジン回転数の最低値が表示されます。

メインディスプレイモードに戻るには、[VIEW]ボタンを押します。

### - ほかのラップのデータを呼び出す

メインディスプレイモードで、[MEM]ボタンを押してベストタイムを表示させます。[MENU/←]ボタンを押すと前のラップが表示され、[→]ボタンで次のラップが表示されます。スプリットタイムを計測するように設定してあれば、ラップごとのスプリットタイムが表示されます。

[MEM]ボタンを押すとそのラップの最低値を表示させることができます。

2つ以上のテストが残っている場合でも、MENU/← ボタンで前のテストを呼び出せません。MENU/←と[→]ボタンは、押し続けるとリピートになり、素早く移動できます。

### - 記録されているデータを消去する

「機能設定」のテストデータクリアを参照してください。

## メンテナンス

MYCHRON 3 Gold XG for Auto は、特にメンテナンスする必要はありません。

なお、改善されたファームウェアアップデーターが発表されたときには、アップグレードすることをお奨めします。

### ファームウェアのアップグレード

ファームウェアアップデーターは公式サイトで随時公開します。

PCとケーブルで接続し、MYCHRON 3 Gold XG for Auto の電源を入れた後、ダウンロードしたアップデーター(拡張子 EXE)をダブルクリックで起動すれば、自動的にファームウェアがアップグレードされます。

## サポート

24時間無償サポートをご利用下さい。

Aim s.r.l. 日本語公式サイト サポートページ

<http://www.aimsports.jp/support/index.html>

お問い合わせが多いトラブルの解決方法など、FAQを掲載しています。

お電話でのお問い合わせはお受けできません。上記ページからメールでお問い合わせいただくか、FAX(020-4665-6438)でお願いいたします。

## クイックリファレンス

### MYCHRON 3 の各種設定を行う

[VIEW]ボタンで電源が入ります。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで設定モードになります。  
MENU/⟨⟨と[>>]ボタンで設定項目を選択できます。

#### 区間タイム用マーカ数を変更する

Number of Splits を選択します。  
[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで数字を変更します。  
MEM を押して確定するか、VIEW で終了します。

#### マーカ信号無視時間を変更する

Obscuring Time を選択します。  
[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで数字を変更します。  
[>>]ボタンで桁を移動します。  
MEM を押して確定するか、VIEW で終了します。

#### 最高回転数を設定する

Maximum RPM value を選択します。  
[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。  
MENU/⟨⟨と[>>]ボタンで選択します。  
MEM を押して確定するか、VIEW で終了します。

#### 回転警告値を設定する

"Shift light" を選択します。  
[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで数字を変更します。  
[>>]ボタンで桁を移動します。  
MEM を押して次のランプの設定を行います。  
VIEW で終了します。

#### タイヤ外周長を設定する

"Wheel circumference" を選択します。  
[MEM]ボタンを押して編集モードに入ります。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで数字を変更します。  
[>>]ボタンで桁を移動します。  
MEM を押して確定するか、VIEW で終了します。

### MYCHRON 3 Plus/Gold を使用する

#### ベストラップを表示する

[MEM]ボタンを押します。  
[VIEW]ボタンでメインディスプレイモードに戻ります。  
ほかのラップを表示する  
[MEM]ボタンを押します。  
[MENU/⟨⟨]ボタンで前のラップに、[>>]ボタンで後のラップに移動します。  
[VIEW]ボタンでメインディスプレイモードに戻ります。